

◎ 家庭科部門（小）

1 行事及び内容

（１）研究委員会

①第１回研究委員会 令和３年６月１８日（金）

- ・令和３年度の事業計画
- ・家庭科部門授業研究会について

②第２回研究委員会 令和４年２月１７日（木）

- ・家庭科部門研修会の成果と課題
- ・年間反省と来年度への方向づけ

（２）本年度の研修について

○天草教育研究所家庭科部門授業研究会 令和３年７月３０日（金） １４：００～１６：３０ 天草教育会館

研究テーマ 「家庭科の授業力向上をめざして」

研修内容 ①模擬授業 「炊飯器シュミレータを使った調理実習」

授業者：天草市立本渡北小学校 野首裕美子 教諭

②研究協議 「自校における家庭科授業の実践及び課題について」

③講話 「家庭科における『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善」

講 師：熊本市立武蔵中学校 白川 悦子 校長

参加人員 １２名



【プログラミング教材を用いた模擬授業】



【白川校長先生による講話の様子】



【旬の食材に親しむためのカードゲーム】

2 成果と課題

○コロナ禍で、どの学校も調理実習ができない現状の中、「炊飯器シュミレータ」というプログラミング教材を用いて児童に実践への意欲を高め、炊飯の正しい手順の理解を深めていくという新しい授業の形を紹介することができた。また、グループでの情報交換も大変有意義な時間となった。

○後半の講師の白川校長先生による講話では、これまでの多くの家庭科の実践に基づいた授業改善のアイデアを紹介され、日頃から高学年の家庭科をどう進めていけばよいのか悩みをもつ参加者の先生方に大きな示唆を与えていただいた。

●今回紹介したプログラミング教材の活用については、各学校で自由にインストールできないということだったので、参加された先生方が実際に授業で実践することができなかった。事前に教材の選定について、十分検討するべきであった。